

# Windowsもう1つの選択肢

先月号で「Windows11」についてお知らせしましたが、その後 もう1つ Windowsの発表がありました。それは「Windows365」というクラウドサービスです。

クラウドサービスとは、インターネットを介したサービスで、ご利用中のパソコンにパッケージソフトを入れてなくてもインターネット経由で利用できるソフト（機能）のことです。

例えば「Microsoft365（旧名称Office365）」もクラウドサービスで利用できるOffice（WordやExcel）製品です。

そのWindows版が「Windows365」となります。

インターネットを使える環境で、パソコンやタブレットから別のWindows環境を利用できます。（仮想デスクトップと呼びます）

Windows365サービスが提供された背景としては、コロナ禍においてリモートワークが急拡大して様々な課題を解決する必要性が高まった事があります。

「情報漏洩対策（データはクラウド上に保管）」「一貫したセキュリティ対策が可能（個人任せではなくなる）」「リモートワーク環境の簡易提供（利用者にノウハウを教えるのみ）」や既存のパソコンを利用して、より性能が高い環境をクラウド上に構築することも可能になります。

コスト面およびその他情報については別途ご紹介致します。




## BSS通信

～2021年08月号～

毎日暑いですね！今年の秋田の夏は例年に比べ、日差しが強くなるように暑い日が多いように感じます。

熱中症対策として、のどの渇きを感じる前のこまめな水分補給やクーラーなどの効果的な使用、また、ソーシャルディスタンスに配慮した、マスクを外した休憩も大切です。

暑さとコロナに負けない夏を過ごしましょう！



## Internet Explorer 11利用中の方は早めの切り替えをお勧めします。

来年の話ですがブラウザのInternet Explorer 11（以下「IE11」）のマイクロソフトサポートが終わります。ブラウザは、インターネットを利用する際に使うソフトのため余裕をもったソフト切り替えを推奨します。IE11のサポートは、Windowsのバージョンにより異なりますが、多くのWindows 10パソコンでは、2022年6月15日に終了します。期間的な猶予はありますが、ブラウザの種類もいくつかあり慣れの面からも早めに違うブラウザに慣れておくことが望ましいです。

利用ブラウザ候補としては、「Microsoft Edge（エッジ）」「Google Chrome（クローム）」「Firefox（ファイアフォックス）」を使っている人が多いです。

注意しないといけないのは業務でブラウザを利用するシステム（社内Webシステム、クラウドシステムやインターネットバンキング）でIE11を使っていた場合、ブラウザ変更により準備（証明書対応）が必要になるケースがあるのでご注意ください。

サポート終了後にIE11を起動すると「Microsoft Edge（エッジ）」が起動するという記事もあり、急に使い慣れない環境になる可能性の点からも利用ブラウザについては早めに切り替えることを推奨します。

### ・2022年6月15日にWindows 10のIE11のサポートを終了する

- 個人ユーザー 利用中のブラウザをIE11から別のブラウザに切り替えなければならない
- 法人ユーザー 組織の標準ブラウザをIE11から別のブラウザに切り替えなければならない
- サービス事業者 提供中のWebサービスの対応ブラウザからIE11を外さなければならない

お問い合わせ  
株式会社ビー・エス・サイトー

〒010-0948

秋田市川尻新川町 9 番35号

TEL:018-865-7400 FAX:018-865-7401

IEでしか閲覧できないWebサイトについては、Edgeの「IEモード」という救済手段が用意されております。しかしサポート終了のタイミングでの問合せは過去の例からも多く、対応しかねる可能性があります。その際はご容赦ください。